

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定のための調査

認知症に関する意識・実態調査

調査についてのお願い

市民の皆さまには日ごろから市政発展のため、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

府中市では、皆さまのご意見やご要望を幅広くお聴きし、平成27年3月に策定を予定しております「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）」の基礎資料とするために、高齢者福祉全般の調査を実施します。

この調査は、府中市にお住まいの介護保険第1号・第2号被保険者（平成25年9月1日現在）の皆様から500名を無作為に選ばせていただき、高齢化に伴い増えつつある「認知症」をテーマに、皆様の意識や要望などをおうかがいするものです。

ご回答いただきました内容はすべて統計的に処理するとともに、府中市個人情報の保護に関する条例に基づき適正に取り扱い、調査目的以外に使用することはありません。お忙しいところ誠に恐縮に存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

平成25年10月 府中市

記入についてのお願い

1. **封筒のあて名ご本人**について、ご記入をお願いいたします。調査票の設問中の「あなた」とは、封筒のあて名の方を指します。回答はできる限り、あて名ご本人が記入してください。なお、あて名ご本人おひとりでの回答がむずかしい場合は、ご家族や周りの方がお手伝いいただくか、あて名ご本人の意見を聞いたうえで代わりに記入してください。
2. 濃い鉛筆又は黒のボールペンで記入してください。
3. お答えをいただく際は、あてはまる項目の番号を○印で囲んでください。
の場合は回答内容などを記入してください。
4. ○の数は、それぞれの質問の指示に従ってください。
5. 「その他」に○印をつけられた方は、[]内に具体的な答えを記入してください。

調査票、返信用封筒には住所、氏名を記入する必要はありません。

記入の終わった調査票は、同封の返信用封筒（切手は不要です。）に入れ、

11月11日(月)までに ご返送ください。

調査についてご質問などがありましたら、次までお問い合わせください。

【問合せ先】

府中市福祉保健部高齢者支援課地域支援係

TEL 042-335-4011（直通）

おしらせ

この調査の結果については、平成26年4月頃に府中市のホームページで公開する他、調査報告書を府中市役所高齢者支援課窓口などに設置いたします。ぜひ、ご覧ください。

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定までのスケジュール

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）策定は、この調査結果などを基礎資料とし、市民、学識経験者、団体などから構成された「府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会」で検討を進めながら策定します。

平成26年3月	この調査も含めた調査報告書を取りまとめます。
平成26年4月頃	調査報告書を府中市のホームページで公開するとともに、各関係機関に設置します。
平成26年秋頃	計画についてパブリックコメントを実施します。 ここでいただいたご意見をもとに計画を再調整します。
平成27年3月	府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第6期）を策定します。

なお、現計画（府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定（第5期））は、前回の皆さまにご回答いただいたアンケートを基礎資料として策定し、府中市役所高齢者支援課窓口や中央図書館などにてご覧いただけます。

また、以下の府中市のホームページ（<http://www.city.fuchu.tokyo.jp/>）でもご覧いただけます。

◆府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）

府中市ホームページトップページ ⇒ 市政を身近に ⇒ 計画

⇒ 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第5期）

あなた（あて名ご本人）のことについておたずねします

※以下の質問で、「あなた」とはあて名の方ご本人のことです。お間違えのないように教えてください。

F 1 あなたの性別をお答えください。（1つに〇）

(N=336)

1. 男性	45.5%	2. 女性	53.6%	無回答	0.9%
-------	-------	-------	-------	-----	------

F 2 あなたの年齢は次のうちどれですか。（1つに〇）

*平成25年9月1日現在の年齢でお答えください。

(N=336)

1. 40～44歳	8.3%	5. 60～64歳	7.4%	9. 80～84歳	8.6%
2. 45～49歳	7.4%	6. 65～69歳	18.8%	10. 85～89歳	2.7%
3. 50～54歳	6.8%	7. 70～74歳	18.8%	11. 90～94歳	0.0%
4. 55～59歳	5.4%	8. 75～79歳	14.9%	12. 95歳以上	0.3%
				無回答	0.6%

F 3 あなたの世帯の状況をお答えください。（1つに〇）

(N=336)

1. ひとり暮らし（自分のみ）	11.6%	4. 夫婦と子ども（二世帯世帯）	7.4%
2. 夫婦のみ	30.4%	5. 夫婦と親と子ども（三世帯世帯）	5.7%
3. 夫婦と未婚の子ども	26.5%	6. その他〔具体的に： 〕	17.9%
		無回答	0.6%

F 4 あなたはどちらにお住まいですか。 内にご記入ください。

(N=336)

町 丁目

第一地区	21.4%	第四地区	10.1%	無回答	1.5%
第二地区	20.8%	第五地区	11.9%		
第三地区	17.3%	第六地区	17.0%		

第一地区：多磨町、朝日町、紅葉丘、白糸台（1～3丁目）、若松町、浅間町、緑町
 第二地区：白糸台（4～6丁目）、押立町、小柳町、八幡町、清水が丘、是政
 第三地区：天神町、幸町、府中町、寿町、晴見町、栄町、新町
 第四地区：宮町、日吉町、矢崎町、南町、本町、片町、宮西町
 第五地区：日鋼町、武蔵台、北山町、西原町、美好町（1～2丁目）、本宿町（3～4丁目）、西府町（3～4丁目）、東芝町
 第六地区：美好町（3丁目）、分梅町、住吉町、四谷、日新町、本宿町（1～2丁目）、西府町（1～2、5丁目）

F 5 あなたのお住まいは次のうちどれですか。（1つに〇）

(N=336)

1. 持ち家の一戸建て	69.6%	5. 公的賃貸住宅	6.0%
2. 持ち家の集合住宅	14.3%	6. 高齢者向け住宅	0.3%
3. 民間賃貸の一戸建て	0.9%	（有料老人ホーム、高齢者マンションなど）	
4. 民間賃貸の集合住宅	7.4%	7. その他〔具体的に： 〕	1.2%
		無回答	0.3%

F6 あなたは、府中市にお住まいになって何年ですか。(1つに〇)

(N=336)

1. 1年未満	0.3%	5. 10年以上20年未満	3.0%
2. 1年以上3年未満	0.3%	6. 20年以上30年未満	8.6%
3. 3年以上5年未満	0.0%	7. 30年以上	87.2%
4. 5年以上10年未満	0.0%	無回答	0.6%

F7 あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。(1つに〇)

(N=336)

1. 要介護認定を受けた(要支援1・2、要介護1・2・3・4・5)	1.5%
2. 要介護認定を受けていない	96.7%
3. わからない	0.9%
無回答	0.9%

F8 あなたは、障害者手帳をお持ちですか。(1つに〇)

(N=336)

1. 身体障害者手帳	3.6%	3. 精神障害者保健福祉手帳	0.0%
2. 愛の手帳	0.6%	4. もっていない	94.6%
		無回答	1.2%

F9 あなたの職業は次のうちどれですか。(1つに〇)

(N=336)

1. 自営業・事業主	7.7%	7. 派遣社員	0.3%
2. 管理・管理職	4.2%	8. 主に家事に従事	20.8%
3. 専門・技術職	3.9%	9. 学生	0.0%
4. 労務・サービス職	5.1%	10. 無職	40.5%
5. 事務職	3.3%	11. その他〔具体的に： 〕	3.9%
6. パート・アルバイト	8.9%	無回答	1.5%

あなたの「認知症」に関する日ごろの関心をおたずねします

* 認知症とは、通常の物忘れとは異なり、覚えたり考えたり判断する力が障害を受け社会生活に支障をきたすようになった状態をさします。それを引き起こす原因としてアルツハイマー病などの病気や脳血管疾患などがあります。厚生労働省の推計によれば、日本でも認知症の人数はこれから大幅に増えることが予測されています。

問1 あなたは、この「認知症」に日ごろどの程度関心がありますか

(N=336)

1. とても関心がある	} →問1-1へ進む	29.5%
2. まあまあ関心がある		51.8%
3. あまり関心がない	} →問1-2へ進む	12.2%
4. まったく関心がない		3.3%
5. 初めて聞いた	→問2へ進む	0.0%
無回答		3.3%

問 1-1 問1で「1. とても関心がある」、「2. まあまあ関心がある」と回答した人におたずねします。それはどのような理由からですか。(いくつでも〇)

(n=273)

1. 自分や自分の家族が認知症になるかもしれないから	56.8%
2. 自分の家族に認知症になった人がいるから	20.5%
3. 知人や知人の家族で認知症になった人を知っているから	28.2%
4. 身近な地域、職場などで認知症になった人がいるから	7.7%
5. 新聞やテレビ、マスコミで話題になっているから	46.9%
6. 福祉や介護に関連した仕事をしているから	4.0%
7. その他〔具体的に： 〕	5.1%
無回答	0.4%

→ 問2に進む

問 1-2 問1で「3. あまり関心がない」、「4. まったく関心がない」と回答した人におたずねします。それはどのような理由からですか。(いくつでも〇)

(n=52)

1. 自分や自分の家族は認知症にならないと思うから	17.3%
2. 認知症のことはふだん考えたこともないから	48.1%
3. 認知症のことなどはできれば考えたくないから	25.0%
4. その他〔具体的に： 〕	9.6%
無回答	5.8%

問2 あなたは認知症について、次のようなことを知っていますか。(いくつでも〇)

(N=336)

1. 認知症は、脳の病気を原因疾患とし、誰にでも起こりうるものであること	75.0%
2. 認知症の症状には、記憶障害や時間・場所が分からなくなるなど共通の症状と、妄想、幻覚、徘徊など個人差のある症状があること	78.9%
3. 認知症の抑制には、食生活や生活習慣などで改善の効果があると認められていること	39.0%
4. 認知症は高齢期だけでなく、若い世代でも発症する若年性認知症があること	76.2%
5. 認知症は早期に発見することにより、進行を遅らせることができること	68.8%
6. どれも知らなかった	1.8%
無回答	6.3%

問3 あなたは家族や職場、地域で「認知症」のことを話し合う機会がありますか。(1つに〇)

(N=336)

1. よく話し合う	} →問 3-1 へ進む	8.0%
2. 話すことがある		42.9%
3. めったに話さない	} →問4 へ進む	23.8%
4. 話したことはない		21.4%
無回答		3.9%

問3-1 問3で「1. よく話し合う」、「2. 話すことがある」と回答した人におたずねします。どなたと、どのようなこととお話しますか。自由に記入してください。

あなたの日ごろの活動についておたずねします

問4 あなたは、隣近所の人と、どの程度おつきあいしていますか。(1つに○)

(N=336)

- | | |
|--------------------------|-------|
| 1. 個人的なことを相談し合える人がいる | 14.0% |
| 2. さしさわりのないことなら、話せる相手がいる | 35.7% |
| 3. 道で会えば、あいさつをする程度の人ならいる | 40.2% |
| 4. ほとんど近所づきあいをしない | 7.1% |
| 無回答 | 3.0% |

問5 あなたは地域活動やボランティア活動、お住まいの地域の行事にどの程度参加していますか。(1つに○)

(N=336)

- | | | | |
|----------------|---|----------|-------|
| 1. よく参加している | } | →問5-1へ進む | 11.9% |
| 2. 時々参加している | } | | 20.5% |
| 3. あまり参加していない | } | →問6へ進む | 25.3% |
| 4. まったく参加していない | } | | 38.4% |
| 無回答 | | | 3.9% |

問5-1 問5で「1.よく参加している」または「2.時々参加している」と答えた方におたずねします。どのような活動に参加していますか。

(いくつでも○)

(n=109)

- | | | | |
|-----------------|-------|----------------|-------|
| 1. 町内会・自治会などの活動 | 62.4% | 6. 防災訓練や交通安全運動 | 28.4% |
| 2. 子ども会やPTAの活動 | 11.0% | 7. お祭りや運動会など | 25.7% |
| 3. 老人クラブの活動 | 16.5% | レクリエーション活動 | |
| 4. 婦人会の活動 | 4.6% | 8. その他〔具体的に： 〕 | 11.9% |
| 5. 地域でのボランティア活動 | 24.8% | 無回答 | 2.8% |

問6 近所に、高齢者や障害のある方の介助・介護、子育てなどで困っている家庭があった場合、あなたはどのような手助けをしたいと思いますか。(いくつでも○)

(N=336)

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1. 安否確認の声かけ | 53.6% |
| 2. ちょっとした買い物やゴミ出し | 24.1% |
| 3. 食事や掃除・洗濯の手伝い | 4.2% |
| 4. 通院の送迎や外出の手助け | 5.1% |
| 5. 子どもの預かり | 7.4% |
| 6. 話し相手や相談相手 | 27.7% |
| 7. 災害時の避難の手助け | 33.3% |
| 8. 具合がよくないときに、病院などに連絡する | 25.9% |
| 9. その他〔具体的に： 〕 | 3.9% |
| 10. 特にない・わからない | 20.8% |
| 無回答 | 3.9% |

問11 あなたは、認知症になっても、住み慣れた地域で生活を送るためにはどのような府中市の施策が必要であるとお考えですか。(いくつでも○)

(N=336)

- | | |
|---------------------------------------|-------|
| 1. 家族の外出のための本人の見守り支援 | 40.2% |
| 2. 認知症の方が喜んで通うことができる場所 | 51.8% |
| 3. 家族が疲れた時や病気の時などに、緊急でも介護を代わってくれる人や施設 | 75.9% |
| 4. 介護者同士が気軽に話すことができ、情報交換ができる場所 | 40.2% |
| 5. 認知症の方の話し相手や散歩の付き添いなどの見守り | 31.5% |
| 6. 医師の往診による診断・治療 | 56.8% |
| 7. 地域での認知症に対する正しい理解を深め、支援者を増やすこと | 27.1% |
| 8. 認知症支援ボランティアの育成 | 23.8% |
| 9. はいかい高齢者SOSネットワークの構築 | 32.7% |
| 10. 認知症の方と家族に役立つ地域資源(施設などの)情報マップ | 32.1% |
| 11. 物忘れ相談医や認知症専門医療機関情報の周知 | 36.3% |
| 12. その他〔具体的に： 〕 | 1.2% |
| 無回答 | 4.2% |

問12 あなたは、これから認知症についてどのようなことを知りたいですか。病気や予防のことなど、なんでもけっこうです。自由に書いてください。

ここから、認知症の方の介護に対するご経験をおたずねします

※認知症のご家族の介護経験のない方は問30にお進みください。

問13 あなたの身の周り(知人やご家族も含め)に認知症の方がいらっしゃいますか。また、いらっしゃいましたか。(1つに○)

(N=336)

- | | | | | | |
|-----------|-------|--------|-------|-----|-------|
| 1. いる(いた) | 22.9% | 2. いない | 22.9% | 無回答 | 54.2% |
|-----------|-------|--------|-------|-----|-------|

問14 あなたは介護(遠距離介護を含む)をしていますか。またしてましたか。

(1つに○)

(N=336)

- | | | | |
|-----------|--------|-------------------|-------|
| 1. 介護している | } 7.4% | 3. 介護していない→問30へ進む | 21.7% |
| 2. 介護を終えた | | } 13.4% | 無回答 |

↓
問14-1へ進む

問14-1 問14で「1. 介護している」、「2. 介護を終えた」方におたずねします。
それはどなたですか。(いくつでも○、最もよくお世話をした方に◎)

(n=70)

1. 実の祖父母	4.3%	5. 配偶者の父母	30.0%
2. 実の父母	61.4%	6. 兄弟姉妹	2.9%
3. 配偶者	4.3%	7. 子ども	2.9%
4. 配偶者の祖父母	0.0%	8. その他〔具体的に： 〕	10.0%
		無回答	0.0%

<最もよくお世話をした方>

(n=70)

1. 実の祖父母	2.9%	5. 配偶者の父母	21.4%
2. 実の父母	52.9%	6. 兄弟姉妹	2.9%
3. 配偶者	4.3%	7. 子ども	0.0%
4. 配偶者の祖父母	0.0%	8. その他〔具体的に： 〕	5.7%
		無回答	10.0%

問15 あなたが最もよくお世話をしている(していた)ご家族のことをおたずねします。
その方は、医師から「認知症」と診断を受けていましたか。(1つに○)

(n=70)

1. 診断を受けていた	→ 問16へ進む	62.9%
2. 診断を受けていない(いなかった)	→ 問30へ進む	25.7%
無回答		11.4%

認知症の介護の経験のある方へ、その内容をおたずねします

※該当する「ご本人」と、介護者である「あなた」のことをおたずねします。認知症の方が複数いる場合は、最も最近介護をされた方について、現在複数の方の介護をしている場合は、最もよくお世話をしている方についてご回答ください。

※介護を終えられた方は、この10年間くらいのご経験について、お答えください。

問16 ご本人からみたあなたの関係は次のどれですか。(1つに○)

(n=70)

1. 配偶者	7.1%	5. 孫	1.4%
2. 子ども	31.4%	6. 甥・姪	1.4%
3. 子どもの配偶者	14.3%	7. その他〔具体的に： 〕	12.9%
4. 兄弟姉妹	0.0%	無回答	31.4%

問17 現在、その方の年代は次のどれですか。

(n=70)

1. 64 歳未満	2.9%	3. 75 歳～84 歳	18.6%
2. 65 歳～74 歳	5.7%	4. 85 歳以上	28.6%
		無回答	44.3%

問18 ご本人は現在、どちらでお過ごしですか。(1つに〇)

(n=70)

1. 自宅	15.7%
2. グループホーム（認知症高齢者共同生活介護）※	0.0%
3. 病院	5.7%
4. 特別養護老人ホーム（常時介護を必要とする高齢者が入所する施設）	2.9%
5. 老人保健施設（看護・介護・療養が必要な高齢者が入所し機能回復を目指す施設）	4.3%
6. 有料老人ホーム	5.7%
7. サービス付き高齢者向け住宅	1.4%
8. その他〔具体的に： 〕	1.4%
9. 介護を終えた・看取った	30.0%
無回答	32.9%

※中程度の認知症高齢者が少数で家庭的な環境の中で暮らし、介護が提供されている施設

問19 ご本人の家族が認知症ではないかと気づいた、あるいは不安に思うきっかけとなったのは、どのようなことでしたか。(いくつでも〇)

(n=70)

1. 同じことを何度も言ったり、聞いたりするようになった	42.9%
2. 置き忘れ、しまい忘れが多くなった	32.9%
3. 物事への興味や関心が失われた	40.0%
4. 家事が以前のようにできなくなった	34.3%
5. 道具や電化製品の扱いが分からなくなった	31.4%
6. お金や物が盗まれたと言うようになった	25.7%
7. 物の名前が出てこなくなった	20.0%
8. ささいなことで怒りっぽくなった	12.9%
9. 言葉の意味が分からず、会話がうまくできなくなった	17.1%
10. 計算の間違いが多くなった	7.1%
11. 慣れた道で迷うようになった	17.1%
12. 人に会うのを避けるようになった	8.6%
13. 仕事上のミスが多くなった	4.3%
14. その他〔具体的に： 〕	20.0%
15. 覚えていない・わからない	2.9%
無回答	24.3%

問20 最初に変化に気づいたとき、家族、知人以外で最初に相談をした先はどちらですか。(1つに○)

(n=70)

1. かかりつけ医（主治医）	37.1%	7. 地域包括支援センター	7.1%
2. ケアマネジャー（介護支援専門員）	8.6%	（以前の在宅介護支援センター含む）	
3. ヘルパーや施設職員	1.4%	8. 民生委員・児童委員	0.0%
4. 物忘れ外来	1.4%	9. 家族会などのボランティア団体	0.0%
5. 物忘れ外来以外の専門医療機関	2.9%	10. その他〔具体的に： 〕	5.7%
6. 府中市の相談窓口	2.9%	無回答	32.9%

問21 いつごろ相談したり、診察を受けましたか。その後、認知症であると診断されたのはいつ頃ですか。(数字を記入)

【初めて相談したのは】 平成 _____ 年頃

【初めて診察を受けたのは】 平成 _____ 年頃

【「認知症」の診断を受けたのは】 平成 _____ 年頃



問 21-1 診断した医師はどのような診療科ですか。(いくつでも○)

(n=70)

1. 内科	18.6%	5. 脳神経外科	12.9%
2. 神経内科	18.6%	6. その他〔具体的に： 〕	7.1%
3. 精神科	8.6%	7. 覚えていない・わからない	4.3%
4. 老年精神科	2.9%	無回答	38.6%

問22 ご本人が診断を受けるまでに困ったことはどのようなことですか。(いくつでも○)

(n=70)

1. かかりつけ医（主治医）の理解が得られなかった	4.3%
2. ケアマネジャー（介護支援専門員）やサービス提供事業者の協力が得られなかった	1.4%
3. 診断してくれる医療機関を見つけるのが難しかった	7.1%
4. ご本人が受診を嫌がった	15.7%
5. ご本人に受診してもらうための家族の負担が大きかった	12.9%
6. 他の家族・親戚が受診を嫌がった	2.9%
7. その他〔具体的に： 〕	8.6%
8. 特にない	22.9%
無回答	42.9%

問23 診断後あればよいと思った支援はどのようなことでしたか。(いくつでも○)

(n=70)

1. 介護保険、介護サービスの利用方法に関する情報やアドバイス	30.0%
2. 認知症の医療に関する情報やアドバイス	30.0%
3. 生活や介護の方法に関するアドバイス	18.6%
4. 近隣の介護者会や家族会などの情報	2.9%
5. 経済的な負担に対する助言	8.6%
6. 介護者の仕事と家庭生活の両立に対する助言	7.1%
7. 見守りネットワークなどの地域の情報の提供	8.6%
8. 成年後見制度などの権利擁護の利用の仕方	5.7%
9. その他〔具体的に： 〕	1.4%
無回答	52.9%

介護を終えられた方は問28にお進みください

問24 現在認知症の方の介護をしている方におたずねします。

あなたはどのように介護にかかわっていますか。(1つに○)

(n=25)

1. 主に自分が介護をしている (主介護者)	40.0%
2. 主に他の家族が介護をしている (副介護者)	12.0%
無回答	48.0%

問25 ご本人は介護保険サービスを利用していますか。

(n=25)

1. 利用している	44.0%	2. 利用していない	12.0%	無回答	44.0%
-----------	-------	------------	-------	-----	-------

問25-1 どのようなサービスを利用していますか。(いくつでも○)

(n=11)

1. 訪問介護、訪問看護などの訪問サービス	27.3%
2. デイサービス(通所介護)などの通所サービス	45.5%
3. ショートステイ(短期入所)サービス	18.2%
4. 福祉用具の利用や住宅改修	36.4%
5. グループホーム(認知症高齢者共同生活介護)や介護付き 有料老人ホームなどの居住サービス	18.2%
6. 特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設サービス	18.2%
7. その他〔具体的に： 〕	0.0%
無回答	0.0%

問26 介護保険サービス以外に利用しているサービスはどれですか。(いくつでも○)

(n=25)

1. 自立支援・医療ショートステイ	0.0%	8. 民間の有償家事援助サービス	0.0%
2. 入浴サービス	8.0%	9. 民間の見守り支援サービス	0.0%
3. 日常生活用具給付サービス	8.0%	10. 社会福祉協議会の有償在宅 福祉サービス事業	0.0%
4. はいかい高齢者探索サービス	0.0%	11. 地域福祉権利擁護事業	0.0%
5. 訪問理髪サービス	0.0%	12. その他〔具体的に： 〕	4.0%
6. 移送サービス	0.0%	無回答	80.0%
7. 民間の食事宅配サービス	8.0%		

問27 あて名ご本人には、現在次のような症状がどの程度ありますか。(1つずつ〇)

(n=25)	ない	ときどき ある	よくある	無回答
①物を盗られたなどと被害的になること	52.0%	4.0%	4.0%	40.0%
②事実でないことを事実であるように話すこと	52.0%	4.0%	4.0%	40.0%
③実際にはないものが見えたり聞こえたりすること	52.0%	4.0%	4.0%	40.0%
④一人で外に出たがり目が離せないこと	52.0%	4.0%	4.0%	40.0%
⑤夜間不眠、昼夜逆転があること	56.0%	0.0%	4.0%	40.0%
⑥助言や介護に抵抗すること	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%
⑦周囲の人に暴力をふるうこと	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%

<認知症介護の経験のある方全員におたずねします>

問28 介護期間を通して、介護者であるあなたが最も大変である(だった)のはどのようなことですか。(いくつでも〇)

(n=70)

- | | |
|-------------------------------|-------|
| 1. 認知症に対する社会全体の理解が不足していること | 11.4% |
| 2. 認知症の人に対する介護の仕方がわからないこと | 24.3% |
| 3. 認知症の人が、利用できるサービスが少ないこと | 15.7% |
| 4. 認知症の人とその家族を、地域で支える仕組みがないこと | 11.4% |
| 5. 身近に、認知症に詳しい医療機関が少ないこと | 18.6% |
| 6. 介護の身体的な負担が大きかったこと | 32.9% |
| 7. ストレスや精神的な負担が大きかったこと | 44.3% |
| 8. 家を留守にできず、仕事や社会的な活動が制限されたこと | 35.7% |
| 9. 介護に要する経済的な負担が大きいこと | 22.9% |
| 10. 認知症に対する介護関係者の理解が不足していること | 8.6% |
| 11. その他〔具体的に： 〕 | 11.4% |
| 無回答 | 31.4% |

問29 これからの認知症の介護者支援策としてあなたが必要だと思うのは次のうちどれですか。(いくつでも○)

(n=70)

1. 介護者に対する定期的な情報提供	30.0%
2. 介護者が気軽に休息がとれる機会づくり	41.4%
3. リフレッシュのための日帰り旅行などの機会提供	15.7%
4. 電話や訪問による相談サービス	22.9%
5. 本人や介護者が集まって話せる場づくり	12.9%
6. 家族会や介護者の自助グループ	11.4%
7. 在宅介護者への手当	22.9%
8. 介護休業取得者のいる企業への支援制度	14.3%
9. 介護者が仕事と介護の両立ができる支援制度、再就職支援施策	20.0%
10. 介護者の経験を活かした介護問題への発言の場づくり	8.6%
11. その他〔具体的に： 〕	2.9%
無回答	40.0%

問30 あなたは認知症介護のご経験を通して、現在、どのようなことをお考えですか。診断から治療、介護、看取りまでのことや、問題に感じていることや必要なこと。これからの見通しなど、どのようなことでも結構ですので自由に書いてください。

最後に、全員の方におたずねします
今後の府中市の認知症施策についておたずねします

問31 府中市では身近な場所で介護の相談が受けられるよう「地域包括支援センター」を設置しています。あなたは地域包括支援センターをご存知ですか。(1つに〇)

(N=336)

1. 利用したことがある	11.6%	3. 知らない	41.4%
2. 名前を聞いたことがある	37.8%	無回答	9.2%

問32 府中市の認知症施策でこれから必要なことは次のどれですか。(3つまで〇)

(N=336)

1. かかりつけ医（主治医）から専門医療機関のスムーズな連携体制づくり	42.0%
2. 医療・介護・行政の連携強化	27.1%
3. 認知症を早期に発見し、予防活動や専門医療機関につなげる取組み	45.8%
4. 医師の認知症対応力を上げる仕組み	8.0%
5. 介護サービスにあたる専門職の質の向上	17.3%
6. 見守り支援など、在宅での生活を支える取組み	19.9%
7. グループホーム（認知症高齢者共同生活介護）の整備	19.9%
8. はいかいや急変時・緊急時への対応	16.7%
9. 家族の精神的な負担を緩和する取組み	39.0%
10. 本人や家族が集まれるカフェのような場づくり	6.0%
11. 家族を対象に、介護やコミュニケーション方法などの研修会の開催	7.7%
12. 認知症の人が活動する場づくり、社会参加の支援	9.5%
13. 認知症への正しい理解を広める取組み	12.5%
14. 64歳以下で発症する若年性認知症患者への支援	6.8%
15. 成年後見制度など、認知症の人の権利や財産を守る制度の充実	8.3%
16. 虐待を防止する制度や取組みの充実	6.5%
17. その他〔具体的に：	1.5%
無回答	10.4%

問33 認知症や府中市の認知症施策について何でもご自由にお書きください。

グループインタビューにご参加していただける方のみ お答えください

※府中市では、市民の皆様の声を反映した計画を策定するため、平成 25 年 12 月頃にグループインタビューの実施を予定しております。ご参加いただける場合は、お手数ですが、下記にお名前、住所、連絡先（電話番号、FAX 番号）をご記入ください。日時・場所など詳細が決まりましたら、あらためてご連絡させていただきます。なお、参加者が多数の場合は、お断りさせていただく場合もございますので、予めご了承ください。

お 名 前	あて名ご本人	
	ご家族	
住 所		
電 話 番 号		
FAX 番 号		

※ご家族が希望される場合は、あて名ご本人のお名前もお書きください。

——ご協力ありがとうございました——